

早稲田大学 大学院法学研究科
2025 年度 修士課程入学試験問題（一般入試）
【専 修 科 目】

専攻名： 基礎法学

専修名： ロシア東中欧法

以下の設問からひとつを選び、それに関して論点や具体例等については自由に設定しつつ論じなさい。

- (1) 帝政ロシアとソ連の国家体制について比較検討しなさい。
 - (2) ソ連と現代ロシアの多民族連邦制と民族政策について論じなさい。
 - (3) ソ連と現代ロシアにおける憲法および立憲主義について論じなさい。
 - (4) ロシア法史における裁判と検察制度の歴史について論じなさい。
 - (5) 所有制度の視点からソヴィエト法および現代ロシア法について論じなさい。
 - (6) ソ連および現代ロシアの刑事実体法および刑事手続法の変遷について論じなさい。
 - (7) ロシアとウクライナとの関係の歴史について、少なくとも帝政ロシア時代にまで遡って論じなさい。
 - (8) ロシアにおける、いわゆる法ニヒリズムについて論じなさい。
 - (9) ロシア以外の旧ソ連諸国（単数でも複数でもよい）の法制度について論じなさい。
- (以上)

答案の書き方（横書き） 六法全書の使用を（認めない）